

## 2016 年度活動報告 CJP 授業：アカデミック日本語

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

阿部 秀夫（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

本授業は、日本語能力試験 N1 合格レベルの学生で、日本人学生や正規留学生と一緒に一般授業を履修する学生を対象としている。履修者は 10 名であった。大学の一般授業で求められる総合的な日本語力を身につけることを目標としており、1 週間に口頭表現 1 コマ、文章表現 1 コマの計 2 コマの授業がある。

### 2. 授業内容

口頭表現クラスでは、他者が書いたものをまとめて相手にわかりやすく説明できること、その内容について議論できることを目標としている。具体的には、朝日新聞の「私の視点」記事を読み、記事の内容をまとめ、自分の意見を入れたレジュメを作成して発表した。発表準備には、LTD 話し合い学習法を導入（以下、LTD）し、日本人学生のラーニングアシスタント（L.A.）とともにグループで話し合い、グループで発表した。学期の後半にはディベートを行い、資料収集や活用法、議論の仕方を学んだ。

文章表現クラスでは、論文を執筆できるようになることを目標としている。今学期は NHK の「視点・論点」の中から、論文の流れに近い構成のものを視聴し、その問題意識からどのように研究していくかをクラスで考えた。この活動は非常に好評であった。その後、各自がテーマを設定し、テーマに関する資料・参考図書を検索、使用して論文を執筆した。

### 3. 成果と今後の課題

学期末アンケートで満足度を尋ねたところ、全員が「満足／まあまあ満足」と回答しており、満足度は高かった。全体として、口頭表現と文章表現の両クラスで課題が出るため、課題が多いという声が 2 名からあった。今後検討していきたい。

口頭表現クラスでは、L.A. を含めた LTD の話し合いで、理解が深まったと感じた学生が多かったため、今後も継続する予定である。

文章表現クラスでは、論文執筆のテーマ設定において、単なる興味だけで選択するのではなく、資料が集められるか否かという点を含めたテーマ設定に重点を置いた指導をしていきたいと考える。